

がん等の病気を抱える労働者の治療と仕事の両立を支援します！

～治療をしながら働く人も職を求める人も仕事の両立が普通にできる世の中に～

宮城労働局では、平成29年3月に取りまとめた「働き方改革実行計画」に基づき、使用者団体、労働組合、社労士会、医師会、地域の中核医療機関の両立支援部署、行政機関、民間団体等において両立支援に取り組む関係者で構成する「宮城県地域両立支援推進チーム」（以下「推進チーム」という。）を設置し、既に職業安定部において設置されている長期間の療養等が必要な病気をもつ求職者に対する就職支援を目的とした「長期療養者就職支援担当者連絡協議会」（以下「協議会」という。）とともに、がんなどの病気を抱える労働者や求職者の皆さんが、治療をしながら普通に仕事と両立ができる社会を目指すことを目的に、推進チームと協議会の共催の会議を9月26日に開催し、県内の関係機関が協力し合い、県民に向け「治療と仕事の両立支援」の必要性などについて広く周知・啓発していくことを確認しました。

<配布資料>

- 資料 1 [宮城県地域両立支援推進チーム設置要綱](#)
- 資料 2 [働き方改革実行計画に基づく治療と職業生活の両立支援について](#)
- 資料 3 [長期にわたる治療等が必要な疾病をもつ求職者に対する求職者支援事業について](#)
- 資料 4～9 参集機関取組内容
 - 資 4 [日本キャリア開発協会](#)
 - 資 5 [宮城県立がんセンター](#)
 - 資 6 [東北大学病院](#)
 - 資 7 [東北労災病院](#)
 - 資 8 [宮城産業保健総合支援センター](#)
 - 資 9 [宮城県保健福祉部健康推進課](#)
- 資料 10 [宮城県地域両立支援推進チーム取組案](#)
- 資料 11 [取組案に対するご意見](#)
- 資料 12 [企業・事業者向けチラシ（案）](#)
- 資料 13 [患者向けチラシ（案）](#)